

令和7年度 東御市地域おこし協力隊活動報告会

## 文化振興支援担当



(文化振興係) 佐野、山本、目黒、小沢、山崎、阿部

# 「文化振興」ってなにしてる？



美術館

教育普及



多様な分野で連携しながら活動中！



文化の掘り起こし

アートイベント



# 梅野記念絵画館・ふれあい館



## ミッション

- 地域との親和性の高い**展覧会や催事の企画、学芸業務**
- 地域と美術館を繋ぎ、市内の文化芸術の振興を図る**



### さの ゆうと **佐野 悠斗**

出身：東京都

着任：R5年4月1日

### やまもと りくと **山本 陸人**

出身：東京都

着任：R6年7月1日

武蔵野美術大学卒業後、教授の紹介で、新卒で東御市へ。大学では美術館の運営やキュレーションを専攻。

**最近のマイブーム** 芸人のラジオを聞くこと

帝京大学に進学。美術史を学び、日本近現代の人形芸術を研究。同大学院在学中に東御市へ。

**最近のマイブーム** 料理

# 地域と親和性の高い展覧会の企画



## 館所蔵品精選展

令和6年度新規収蔵作品を含めて

白鳥映雪、吉岡寛、山本弘 他

令和7年 4.12(土) ~ 6.8(日)

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日

開館時間：9:30 ~ 17:00（最終入場 16:30）

入館料：500円（団体 400円）

※中学生以下無料 ※团体割引は 15名様以上から

東御市梅野記念絵画館・ふれあい館  
〒389-0406 東御市八重原 935-1 芸術むら公園内  
TEL: 0268-61-6161 FAX: 0268-61-6162

## 東信濃工芸作家展 vol.9

— 友禅染作家 池田公正と上田工芸会の仕事 —



2025年

9月6日[土] ▶

10月13日[月・祝] 入館料

同時開催 | "STRIPE" — 水平線 戦後80年 山田正亮と焼け跡の前衛

会場：東御市梅野記念絵画館 ふれあい館  
開館時間：9:30~17:00（最終入場 16:30）  
月曜日（祝日の場合は翌火曜日）  
祝日の翌日  
無料

[www.umondokinen.com](http://www.umondokinen.com)

## 私の 愛する 一点展

第23回

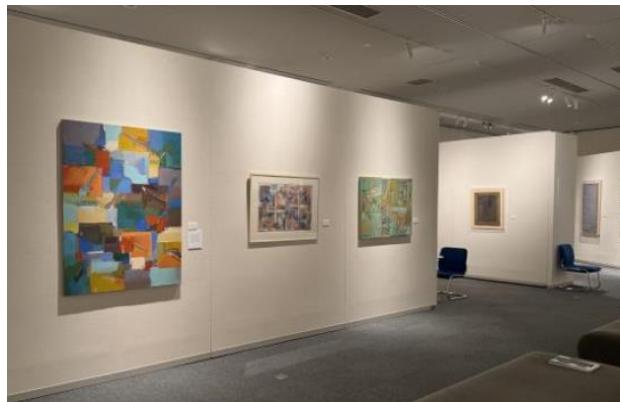
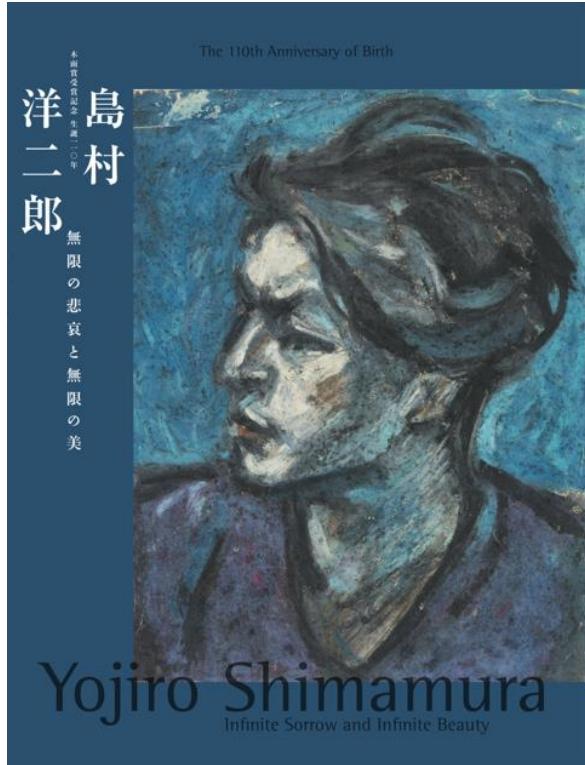
2025年6月21日[土]~8月24日[日]

東御市梅野記念絵画館

主催 東御市梅野記念絵画館・ふれあい館、梅野記念絵画館友の会

絵を愛する人たちがめぐりあいの喜びや作品に寄せる想いを伝えるため、所持する作品を持ち寄って展示する梅野記念絵画館恒例の展示会です。

# 地域と親和性の高い展覧会の企画



# ➤➤➤より地域にひらかれた美術館へ



ナイトミュージアム



ワークショップ



北御牧中学校美術部指導(佐野)

◎学校や地域作家と連携した、交流の場の創造

◎梅野コレクション、東御市にのこる農民美術の調査・研究

NEXT 刀剣文化の掘り起こし



めぐろ けいこ  
**目黒 慶子**

出身:群馬県

着任: R5年12月1日

大学進学で千葉へ。卒業後は一般企業に就職。就活後に刀剣に興味を持ち始め、刀剣の仕事を目指して東御市へ。

最近のマイブーム

食器集め

# 刀剣文化振興 担当

ミッション

■**東御市の刀剣文化**に関する調査研究

■展覧会、イベント等での刀剣文化の普及





# 刀剣Touken

## －刀が映す東御の歴史(けしき)－

会場：梅野記念絵画館

会期：11月15日(土)～2026年1月12日(祝/月)

地域ゆかりの刀剣から見えてくる地域の歴史と、  
現代刀匠宮入法廣氏の仕事を紹介

雷電為衛門所有と伝わる脇指、祢津・長命寺の石尊さまの納め刀  
正宗賞受賞短刀、正倉院宝物刀子再現模造 等

# より広める



ギャラリートーク



銘切体験

# より深める



オープニング特別講座



特別文化対談

宮内庁正倉院事務所  
前所長  
西川明彦氏  
×  
宮入法廣氏

人間国宝  
福島善三氏  
×  
宮入法廣氏

# ➡➡➡ 刀剣文化をより身近に

来館者数  
1257人



「刀剣展をきっかけに東御市に訪れた」  
「刀剣をとりあげた企画展の開催を望む」声が多数



- ◎梅野記念絵画館の常設室で、東御市所蔵の刀剣を展示
- ◎宮入法廣刀匠の情報を発信

NEXT 教育普及活動



おざわ なごみ  
**小沢 和実**

出身:埼玉県

着任:R6年4月1日

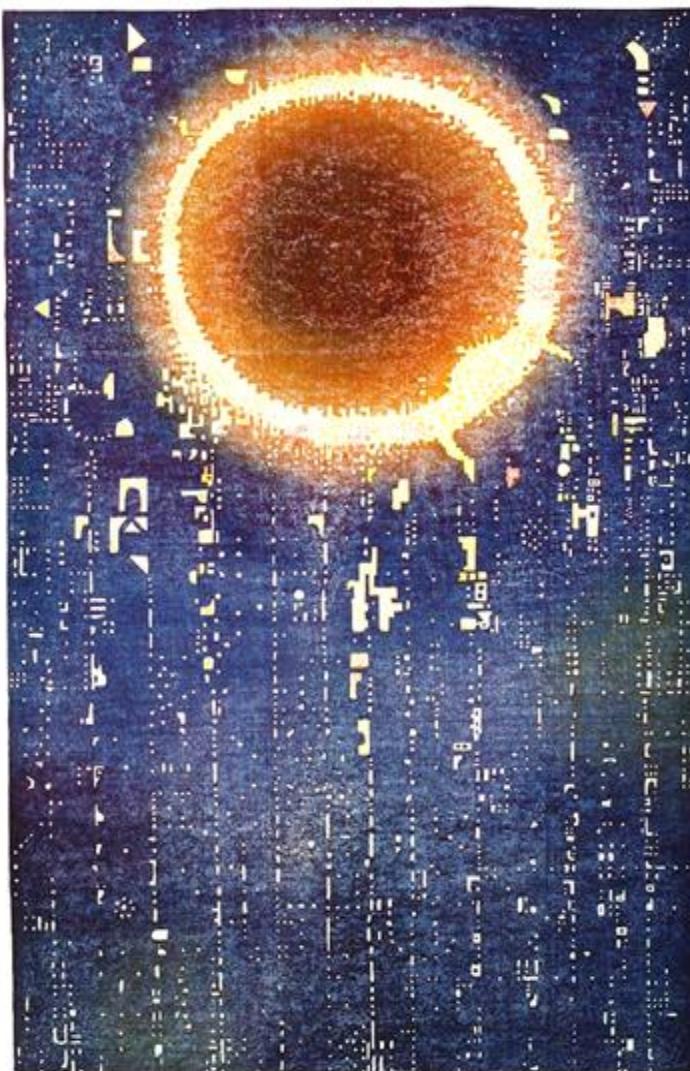
東京の美術大学に進学。主に「地域の文化資源や施設とひとを繋ぐ取り組み」について学ぶ中で、教授の紹介で東御市へ。  
最近のマイブーム 地元の野菜でキムチづくり

# 教育普及・人材育成 担当

ミッション

■東御市での朝鑑賞の推進

■学校と美術館を繋ぐ教育普及活動の企画・運営



# Q. 何に見えますか？

小学1年生のクラスで生まれた“対話”

- A 「おつきさま」
- B 「えー、おつきさまには穴が開いてないよ～」
- C 「おつきさまは赤くないよ～」
- D 「皆既月食じゃない？ 皆既月食は月が赤くなるよ。」
- E 「金環日食かもしれないよ」  
「金環日食っていうのはね、太陽と月が重なって、  
周りが指輪みたいに光るんだよ！」
- F 「隕石じゃないの？」 (多くの子) 「私もそう思う！」
- G 「隕石と太陽だよ！」 (多くの子) 「賛成！」
- H 「人が吸い込まれているブラックホールみたい」

# 朝鑑賞

子どもも先生も一緒になって、クラスで一つの美術作品を鑑賞し、それぞれ見えたもの、思ったこと、感じたことを伝え合えあう。



市内美術館所蔵品を活用

目指すもの

“対話できる”  
集団づくり

- ・自分の答えを否定されなくて答えがないから、多く発言できるようになった。
- ・友達の意見を聞いて自分と違う物に見えておもしろい。

子ども：朝鑑賞が定着している様子が伺える。

先生：朝鑑賞の効果や**子どもの変化を実感**してい  
る。

朝鑑賞 ⇒ 学校の魅力向上 = 地域の魅力

“対話できる”集団



20年後…



対話によって豊かなまちづくり

# 学校から地域にも広げる



## 朝鑑賞パンフレット

令和5年版



令和6年版



## 朝鑑賞体験イベント



## 対話をテーマにした展覧会

## 来年度も企画中！

## NEXT アートイベント



# 火のアートフェスティバル 担当

ミッション

■30年以上続く、地域に根差した  
火のアートフェスティバルの企画、運営



やまざき まゆ  
**山崎 麻由**

出身:新潟県

着任: R5年4月1日

大学卒業後、岡山県の美術館でイベント企画やガイドツアーを担当。地元の近くで文化芸術を活用した地域振興に携わりたい思いで東御市へ。

最近のマイブーム

陶芸、山の名前を調べる

# 歴史・文化の継承×自然×アートの融合



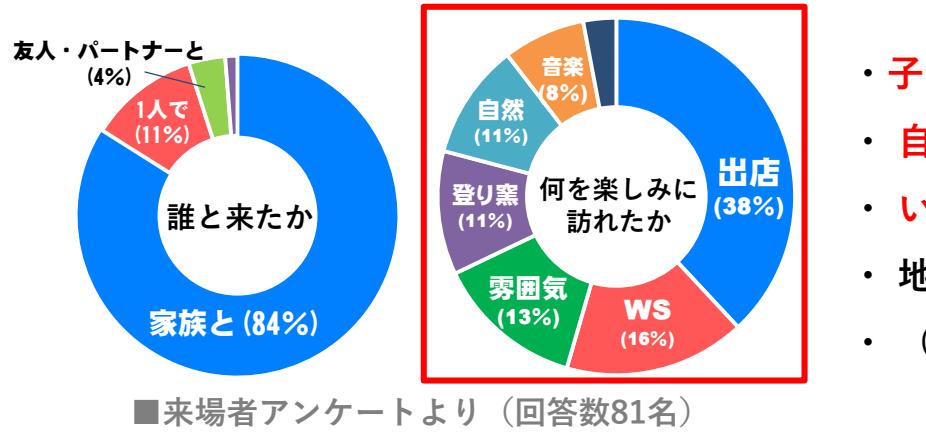
# 学校×地域の文化・芸術（須恵器文化）



6月～8月  
**学校陶芸教室**  
市内保育園・幼稚園等  
小学校、中学校  
約500名が体験



# 魅力とは？ また来たくなる！体験に



- ・子どもが体験できるイベントで楽しい
- ・自然を感じる、一番大好きなイベントです
- ・いろんなブースがたくさんある
- ・地元なので、賑やかにしていただいて嬉しい
- ・（出店者）毎年ここでの出店を楽しみにしている



- ◎誰でも、誰とでも、何回でも楽しい
- ◎人と人、地域と人がつながる
- ◎来たら東御をちょっと好きになる



# 天空の芸術祭 担当

ミッション

■東御市×東京芸術大学の域学連携事業  
天空の芸術祭の企画、運営



あべ ほのか  
**阿部 穂香**

出身:東京都

着任:R7年4月1日

2025年3月東京藝術大学大学院修了。学生時代にアーティストとして天空の芸術祭に参加し、初めて東御市を訪れる。アートと地域の関係に興味があり、協力隊に着任。

最近のマイブーム

スピーカーで音楽を聴く

# 東京藝術大学(学生・教員)×地域住民の協働



## 東御市の自然・歴史・文化



## アート作品へ

# 作家と地域の交流



■地域での滞在・制作



■作品解説ツアー

## ■ワークショップ



↑北御牧中学校美術部

←美術家×臨床心理学者×音楽療法士  
「あなたの話を聴かせてください」

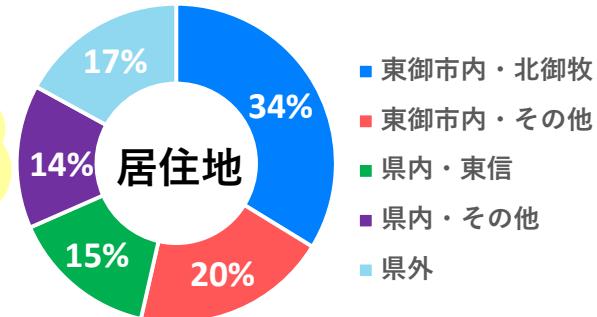


アートを通して  
地域を知る・触れる



# 地域とより深くつながるために

来場者数  
501人



- 今後も続けてほしい。
- 地域に溶け込んだ作品が多く、地域の雰囲気をくみ取ってくれていた。
- (運営メンバー) 東京藝大との交流をより密に行いたい。

異質なものと出会い、対話する



アートを通して地域を味わう

2026年  
ワークショップ・リサーチ

2027年  
第10回「天空の芸術祭」開催



美術館

教育普及

文化をつなぎ、広げ、心を豊かに

文化の掘り起こし

アートイベント